

平成 2 8 年 1 2 月 6 日
(2 0 1 6 年)

保護者の皆さまへ

吹田市立第六中学校
校長 上 西 創 司

平成 2 8 年度 全国学力・学習状況調査の分析について

本年度、3 年生を対象として「平成 2 8 年度全国学力・学習状況調査」を実施し、9 月上旬に個人ごとの結果をお返ししました。また吹田市でも、今回実施した調査結果の概要を吹田市のホームページを通じて公表しております。

この調査は中学校の最終学年のみを対象とした調査であり、教科も国語と数学に限られ、測定されたものは学力の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。そのことをまず踏まえつつ、調査によって得られた課題を明らかにし、その改善に全力を注ぐことが、調査本来のねらいであると考えています。

対象となった 3 年生には、よりきめ細やかな指導ができるよう取り組みを進めるとともに、学校全体として課題に応じた学力向上につながる具体的な指導法の工夫改善も図ってまいります。各ご家庭におかれましても、以下の分析結果をもとに、今後の家庭学習の指針として、参考にさせていただきますようお願いいたします。

1. 教科に関する調査結果の分析

【国語 A】

本校の平均正答率（本校値）は、全国の平均正答率（全国値）とほぼ同じで、「書く能力」、「言語についての知識・理解」の分野においては、大阪府の平均正答率を上回るものの全国値より低い結果となっています。また、「話す・聞く能力」、「読む能力」の分野においては全国値よりやや上回っています。

「読書が好き」という生徒も多く、文章の読解力がついているものと思われ

【国語 B】

国語 B 全体の本校値は、全国値をやや上回っています。「書く能力」は全国値を上回り、「読む能力」は全国値をやや上回っています。

無解答が少なく、作文を書くことへの抵抗感が弱く、また、記述式での解答も全国値を上回っています。

【国語における成果と今後の改善点】

作文に関しては、中学校 1 年生からの作文指導が続いている成果と思われ

「国語の勉強は好きだ」、「授業の内容はよく分かる」と回答した生徒が例年より少なかったことから、授業の内容を「楽しい」、「分かる」授業に改善していきたいと思

【数学 A】

本校の平均正答率（本校値）は、全国の平均正答率（全国値）をやや上回っています。領域別に見ると「数と式」「図形」については、全国値を上回り、よく理解できていることがわかります。「関数」についても全国値を上回っているのですが、「数と式」「図形」の正答率ほどには高くなく、この領域について課題があることがわかります。

一方で「資料の活用」については、全国値をやや下回り、この領域では更に課題が大きいことがわかります。

【数学 B】

「図形」の領域は、全国値を上回り、よく理解もできており、学習した事柄を活用する力もついていることがわかります。

「数と式」「資料の活用」の領域も全国値をやや上回っている状況です。記述式の問題の本校値は全国値を上回るものの、他の問題に比べると高くなく、考え方や解き方を表現する力をより一層育む必要があります。

【数学における成果と今後の改善点】

「授業の内容はよくわかりますか」という質問に対する肯定意見の割合は、全国平均を上回り、実際に学力検査の結果も全国値を上回るもので、習熟度別少人数指導や授業改善の成果が現れていると考えられます。一方で、「数学の授業が好きだ」と答えた生徒は、全国平均を下回り、生徒の興味・関心をひくような教材や指導方法を工夫する必要があると考えられます。

「学んだことを普段の生活に活用できないか考える」という質問に対する肯定意見が全国平均を下回っています。実生活や身近な場面で、数学の知識や技能が役に立つことが実感できるような授業づくりを進めてまいります。

2. 生活習慣や学習環境等に関する調査の傾向

【学校生活や学習に関する項目】

「原稿用紙 2 ～ 3 枚の文章を書くことは難しいとは思わない」という意見は、全国平均を上回り、文章を書くことに対する苦手意識は低く、文章を書いて表現する力を更にのばしていきたいです。

「自分の考えを発表する」「自分で課題を立て、情報を集め整理する」などの項目は全国平均よりも低く、教科や総合の時間の中で、課題を見つけ、課題解決に必要な情報を収集しまとめて発表する場面をもっと多く取り入れていく必要があります。

これまでも本校の課題であった家庭での学習については、まだ改善されているとは言えず、家庭学習の時間が短い生徒の割合が全国平均よりも多く、今後とも小学校やご家庭と連携し生徒への働きかけを進めていきます。

【自己肯定感等に関する意識調査】

「難しいことでも、失敗を恐れず挑戦する」という項目は、全国平均を上回り、チャレンジ精神が旺盛であることがうかがえます。今後もそういう姿勢を大切にし、様々な体験を通して、問題を解決する力を身につけたり、自尊感情を高めるよう取り組んでいきます。

一方で「将来の夢や目標を持っている」という項目は、全国平均を下回っています。道徳・特活・総合等の時間を活用し、「将来の夢」や「なりたい自分の姿」などを具体的にイメージできるような取り組みを更に進めていきます。

【地域社会とのつながりに関するもの】

「地域や社会でおこっている事柄に関心がある」という項目が全国平均を下回り、地域社会に対する関心の低さがうかがえます。地域行事への積極的な参加を呼びかけたり、社会で起きていることと自分の生活との関わりについて考える機会を増やす必要があります。

3. 今後の取り組み

以上の結果を踏まえ、今後更に学校生活を充実させ、授業はもとより様々な行事を通じて達成感や自尊感情を育む取り組みを進めてまいります。また、学力の向上には家庭学習の定着が不可欠です。そのためにも、基本的な生活習慣を確立し、様々な生活体験や日常的な会話を通じて、自主的に学習に向かう姿勢を身につけさせるような働きかけが大切です。本校では、より一層の工夫・改善を進めてまいります。各ご家庭におかれましても、ご協力をよろしくお願いいたします。